

島根県立大学生 × 弥栄のみらい創造会議 協働による地域発信プロジェクト

島根県立大学生とタッグを組んで、弥栄のみらい創造会議の活動や頑張っている方の取り組みが皆さんに届くように発信していこう！そして興味関心を持ってもらおう！
と思い、このプロジェクトを始動させました。！

第1弾は、弥栄のみらい創造会議のなごみ部会の日原副部長に島根県立大学の学生さんがインタビューをしました。

県大生

普段どのような活動をされていますか？

日原さん

なごみ部会では、認知症サポーター養成研修やフォトコンテストなどを行っています。認知症サポーター養成研修は、各集落の代表の方に認知症について正しく知ってもらうことを目的として行っています。また、フォトコンテストは、写真を通して弥栄をPRできればと思い行っています。

なごみ部会

地域の環境及び景観の保全、青少年の健全育成、健康福祉の向上、生活基盤の確保に関すること。

県大生

活動する中でやりがいを感じるのはどのようなときですか？

日原さん

地域の方との交流を通して様々なお話を聞けたときや、地域の方から「ありがとう」と感謝をされたときにやりがいを感じます。

県大生

弥栄地区の課題は何だと思いますか？

日原さん

地域住民のみなさんに、高齢化が進む弥栄地区独自の問題をいかに自分事として考えてもらえるかが課題だと思います。高齢化が進む中で、車を運転できなくなった時などのために今何ができるのか、みなさんと一緒に考えていきたいです。



島根県立大学生 × 弥栄のみらい創造会議 協働による地域発信プロジェクト

県大生

今後どのような地域活動が必要だとお考えですか？

日原さん

2つ考えられます。1つ目は災害時における支援に関わる活動です。2つ目は地域の方が交流などの中でお互いが気にかけていく緩やかな見守りを行うことが必要だと考えています。弥栄地区では、人と人とのつながりを大切にしていきたいです。



県大生

活動に対する今後の抱負をお聞かせください。

日原さん

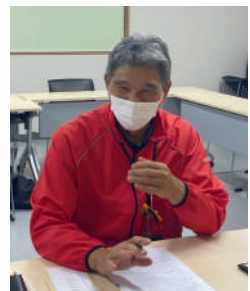
弥栄地区の10年後、20年後を見据えて、今何をしなければいけないかを意識して活動を続けていきたいです。

県大生

最後に弥栄地区の方々へのメッセージをお願いします。

日原さん

生涯弥栄で暮らしていくことを考えて、できることは自分たちでやれるように一緒に頑張りましょう！



— なごみ部会 今年度の活動を少し紹介します —

秋のウォークラリー

弥栄町の自然環境の実態と先祖が暮らしてきた歴史をウォークラリーをとおして伝える。
今年度は10月7日に開催しました。

フォトコンテスト

みんながフィールドワーカーになって、弥栄町の宝物を写真に撮り、弥栄町のPRに活用
今年度の2次募集はもうすぐ！

誰もが一緒！

(認知症サポーター養成講座)

子どもから高齢者・性別や障がい問わず人と人とが繋がりを持ち、それぞれの場所で生活できるように。
今年度は11月25日に開催しました。

自然は友だち

(秋の自然観察会)

自然で遊びながら、散策しながら活動でみつけた生き物や植物等を記録するなどして、自然の大切さを理解する。
今年度は10月9日に開催しました。

ちょこっとお手伝い

身の回りのお困りごと（ズボンの裾上げやほころび、ボタン付け等）をちょこっとお手伝いします！

